

集中改革プラン平成20年度取組状況

| 取組内容 | 事務事業名 | 取組概要及び効果 | 効果額等 (単位:千円) | 所管課 |
|----------|-----------------|--|-----------------|--------|
| 民間委託等の推進 | 浄化センターの運転管理業務委託 | 部内会議で委託実施の方向で進めることを確認した。 | — | 浄化センター |
| | 直営し尿収集範囲の縮減 | 部内会議で直営収集地域を段階的に民間へ移管する方向で進めていくことを決定した。 | — | 浄化センター |
| | 保育所の民営化及び統廃合 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査の実施(平成20年11月) ・今後の保育所(園)の望ましい姿について市民対象にニーズ調査を実施 ・庁内での統廃合の検討 ・庁内の保育所(園)関係各課により、統合・民営化を含め保育所運営について検討を実施した。外部委員による検討委員会の進捗状況にあわせて平成21年度以降も継続して議論を進める。 ・外部委員による検討委員会の設置 ・市内の保育所(園)関係有識者による検討委員会において、統合・民営化を含め保育所運営について検討した。平成21年度以降も継続して議論を進める。 | — | 少子化対策課 |

| 取組内容 | 事務事業名 | 取組概要及び効果 | 効果額等 (単位:千円) | 所管課 |
|------------|-------------------|--|-----------------|-------|
| 指定管理者制度の活用 | 指定管理者制度導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度選定替となる施設について、各施設所管課が管理運営方法の検証を行った。(5施設を直営。応募がなかった6施設も併せて直営) ・選定委員会の開催 49施設を選定(更新44施設。新規5施設) | — | 施設管理課 |
| | 直営施設に指定管理者制度導入を検討 | <p>【借楽荘】指定管理者制度導入(平成20年4月1日～平成23年3月31日:3ヶ年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間勤務体制の導入により、サービス向上では指定管理者制度導入の効果が現れている。 ・入所者の要介護状態の支援については、平成21年度中に施設内においてヘルパーサービスを実施予定。 ・入所者や入所者の保護者とサービス面等について協議を実施した。指定管理者制度導入後のサービスが向上したことについて好評であった。 <p>【きらめき工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月から指定管理者制度を導入する。期間は平成21年度から平成25年度までの5ヶ年とする。 | — | 高齢障害課 |

| 取組内容 | 事務事業名 | 取組概要及び効果 | 効果額等 (単位:千円) | 所管課 |
|----------|-----------------|--|-----------------|-----|
| 定員管理の適正化 | 集中改革プランにおける定員管理 | 一般会計における20年度末の退職者数と21年度採用者数の差は31名となった。なお、前年度までに削減目標は達成されている。 | 403,284 | 職員課 |

| 取組内容 | 事務事業名 | 取組概要及び効果 | 効果額等 (単位:千円) | 所管課 |
|---------|---------|---|-----------------|-----|
| 給与等の適正化 | 給与等の適正化 | 一般会計における国家公務員に準拠し実施した昇給の1号抑制の効果額は15,679千円である。 | 15,679 | 職員課 |

| 取組内容 | 事務事業名 | 取組概要及び効果 | 効果額等 (単位:千円) | 所管課 |
|------|---------------------|---|-----------------|-------------|
| | 行政評価システムの導入 | 行政評価システムに基づき、平成19年度実施事業及び平成20年度以降新規事務事業1,125事業について評価を行った。 | — | 行政改革推進課 |
| | 病院機能評価の取得(平成19年度完了) | 改善を要する2課題に取組むことができ、再受審をした結果、機能評価V5の認定を得ることができた。 | — | 市民病院庶務課 |
| | 権限移譲の推進 | 権限移譲パッケージの2項目について協議を実施した。 | — | 行政改革推進課 |
| | 外部監査制度の導入(平成20年度完了) | 庁内検討委員会外部監査導入の可否について決定した。 | — | 監査委員事務局 |
| | 猟友会組織の統合(平成19年度完了) | 平成18年6月に伊賀市猟友会が設立された。 | — | 農林政策課 |
| | 窓口の利用時間延長(平成19年度完了) | 平成18年度から毎週木曜日午後7時30分まで窓口を延長している。利用者数396人、利用件数707件の利用があった。 | — | 住民課 |
| | イベント開催時の連携・調整 | 年度計画の報告及び庁内広報の報告を周知した。市民に関わりのある事業やイベントについて、各課からの報告分は全て掲載した。掲載内容の基準について、各課の広報主任に通知し周知した。 | — | 企画調整課・広聴広報課 |
| | 上下水道使用料の一括徴収の検討 | 一括徴収化の前段として、処理区別に長期収支計画を作成し料金体系の見直しを検討した。 | — | 下水道課 |
| | 観光関係団体事務局事務の見直し | 連絡協議会及び観光協会正副会長会議を開催し、観光協会事務局見直しについて、周知と一定の理解を得ることができた。 | — | 商工観光課 |

| 取組内容 | 事務事業名 | 取組概要及び効果 | 効果額等 (単位：千円) | 所管課 |
|-------------------------|----------------------------------|--|-----------------|---------|
| 事務・事業の再編・整理・廃止・統合 | 国際交流員の見直し (平成19年度完了) | 国際交流員の任期切れの平成18年8月1日から1名に削減2名から1名にした。 | | —文化国際課 |
| | 直営し尿収集範囲の縮減 | 部内会議で段階的に現在の直営収集地域を民間へ移管する方向付けを決定した。 | | —浄化センター |
| | 指定ごみ袋制度の導入 (平成19年度完了) | 19年1月より導入した。平成19年1月から3月の3ヶ月間で前年度の同期間と比較して266,150kg、6.15%減量。指定ごみ袋取扱店募集233店登録があった。 | | —清掃事業課 |
| | 環境基本計画の策定 (平成19年度完了) | 環境基本計画を策定した。 | | —環境政策課 |
| | 水道事業整備計画の策定 (平成20年度完了) | 伊賀市水道事業基本計画を策定した。 | | —水道総務課 |
| | 同和行政推進計画の策定 (平成20年度完了) | 伊賀市同和施策推進計画を策定した。 | | —同和課 |
| | 水道事業評価の実施 (平成19年度完了) | 平成17年度に設置し、新規事業の事前評価を実施している。 | | —水道施設課 |
| | 基金活用奨学金 (平成19年度完了) | 4つあった各基金の運用の違いにより年度毎に奨学金対象人員に変動があったが、今後は毎年2名に支給することができる。「ササユリ奨学金」として運用する。 | | —教育総務課 |
| | 中学校9校分について給食センター整備 (平成19年度完了) | 19年4月5日に「いがっこ給食センター夢」が竣工し、同11日から市内全中学校度に学校給食を実施する。 | | —教育総務課 |
| | 伊賀水田ビジョンの見直し (平成19年度完了) | 19年4月5日に水田農業ビジョンを策定し、集団転作等の作付け拡大に伴い、ビジョンに基づく産地づくり交付金について1月20日水田農業推進協議会総会を開催し単価を見直した。 | | —農林政策課 |
| | 個人給付の統一 | 畜産関係の個人給付補助金について、市内で基準を統一し、平成21年度予算に反映予定。 | | —農林振興課 |
| | 団体補助の統一 | 優良素牛導入事業の補助基準が市内で統一し、平成21年度予算に反映予定。 | | —農林振興課 |
| | 自主運行バス・行政サービス巡回車の見直し | 各路線の利用状況調査を実施し、検証・評価を行った。この結果を受けて、ダイヤ改正・経路変更等の検討をした。 | | —企画調整課 |
| | 合併処理浄化槽関係補助金の見直し (平成19年度完了) | 修繕補助金を平成18年度から廃止した。設置補助金は金額の統一を行った。 | | —下水道課 |
| | 芭蕉顕彰組織の統合 (平成19年度完了) | 平成19年4月1日付けで財団法人芭蕉翁顕彰会といがまち芭蕉翁顕彰会が統一された。 | | —文化国際課 |
| 国際交流協会の統合 (平成19年度完了) | 平成19年4月1日付けで、伊賀市国際交流協会が設立された。 | | —文化国際課 | |